



ゆり北

1985年11月30日

第 22 号

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

防災運動会は大成功!!

消防署も絶賛

十一月十日(日)午前九時三十分、「防災運動会」が始まりました。

その日午前八時前から、自治会役員、自治委員、世話人、管理組合役員など三十人余りが新町小学校庭に集まり、テント張り、資材準備、グラウンド整備、賞品準備その他スケジュールの入念な打ち合わせが行われました。

そして九時三十分、CISシステムによる「避難訓練」の呼びかけが開始されました。が、なかなか放送されず、「ハンドマイク隊」による呼びかけの方が先にスタートしました。そのうちに高層棟の各エレベーターホールから、放送が始まり、住民の新町小学校庭への「避難」がすみやかに行われたのです。

大人・子供を合わせて約三百六十人余りが参加して、十時、吉柳自治会長の開会宣言に続いて「防災運動会」が始まりました。タンカを作ってボールを運ぶ第一ゲーム。迷子探しの第二ゲーム。障害をクリアして安全無事に逃げのびる第三ゲーム。

そして最後は、一升ビンを火に見立てて水をかけて消す(倒す)第四ゲーム。すべて滞りなく、



ケがもなく、楽しく行われたのでした。

各ゲームに先立って、消防署の署員による実演説明もあり、防災への備えを具体的に覚えることができました。

更にゲーム終了後、志村消防署成増出張所の放水車による放水実演が鮮やかに行われ、ひき

続いてハシゴ車が、スルスルとハシゴを延ばして、という予定でしたが、残念ながら調子が悪くハシゴは延びませんでした。成増出張所長の全体の講評も95点(5点はハシゴ車の故障によるマイナス)で、ゆり北自治会・管理組合共催の「防災運動会」は大成功のうちに終了しました。

管理組合・土井会長の閉会のことで、予定通り十二時ジャストに終わったのです。

△北村実行委員長談▽

たんなる「防災訓練」では楽しみが少ないので、「あわてず」「すばやく」「協力して正確な対応をする」共通点があること



<ハシゴ車も出動したが…>



から、運動会と結びつけてやってみました。結果は、大成功です。これも皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございます。これを機会に、さらに防災意識をすべての住民の皆さんと共に深めていきたいものだと思います。ご協力感謝します。



301・302道路問題について

六月の区議会で請願が採択された301・302道路問題について、十月三十日（水）、住民側と区の担当職員との第一回目の話し合いが行われました。

採択された請願の内容は、①301・302道路を生活優先の区道として実現してほしい。②大型車通行、速度、騒音等の規制の実施、特に夜間および休・祭日の規制の早期実現をしてほしい。③歩行者、自転車優先の道路設備、騒音緩和の設備の設置を促進してほしい。——という三点ですが、これに沿って話し合いがすすめられました。

住民側（約二十人出席）から積極的な意見が次々と出されました。人間のための道路が、人間を苦しめるものになっている、という基本的な考え方から、騒音は健康を害し、被害も実際に起きている、という具体的な事例まで挙げて区側の早期取り組みを促しました。

区側は、少し後ろにいたら聞こえないほどの小声で、誠実に請願実現に努力することを約束しましたが、取りあえず、来年度は植栽によって騒音に対する

応急措置を行うとのこと。

これでは抜本的な対策にはならず、住民側にとっては気休めにしかならないというのが大方の意見でした。道路の歩道を広げたり、サイクリング・ロードを設けたりして車道幅を狭めて結果的に車の規制をしたらどうか、道路を少し掘り下げて、その上にドーム状の防音壁をすっぽりかぶせるわけにはいかないか：などなどが新たに住民側から提示されました。

これに対し区側は、よい方法をこれからいろいろと住民と話し合いを重ねることによって実現の方向に努力したい、と解答しました。長期戦の構えでいる様子ですが、住民は「今、大変な目に会っているのです。心理的な安心感を与えるだけで、何の実効もない植栽防壁で終わらせることはできません。」

これから何回か話し合いが行われる予定ですので、ぜひ多くの住民のご出席をお願いします。そして、一日も早く、騒音のない、快適に生活できるゆり北団地をつくるために、全ての住民のご協力をお願いします。

さあ、冬祭りだぞ！

だいぶ寒くなってきました。もう師走で、お正月も目の前です。ゆり北自治会では恒例の「冬祭り」を計画しています。十二月二十二日（日）午前十一時～午後三時ごろまでを予定しています。今年は昨年の反省を踏まえて、暗くならないうちに子どもたちと共に楽しい時間を過ごすことを考えています。催し物その他については詳細が決定次第、ポスターなどでお知らせします。

夏祭り同様、商店会さんのご協力で模擬店などを並べて盛大に催す予定ですが、歳末セールとの関係もあり、今のところ決定はしていません。「模擬店を出したい」とか「こういうアイデアがあるんだが：」という方は、自治委員・役員にどしどしお申し出下さい。

寒い冬を元気に過ごすことを念じて、冬祭りを盛り上げたいと思います。一人でも多くの人のご協力をお願いします。

ゆりの木事件簿

十月二十日ごろ、8号棟105鈴木さん方の子供用自転車（BMXという最新型）が盗まれました。早速、成増交番に盗難届けを出したところ、十一月四日に無事戻ってきました。赤塚五丁目付近に乗り捨てられてあるのを近所に住む渡辺さんという方が下赤塚交番に届け出てくれたからでした。鈴木夫人いわく「盗難届けすることも結構役に立つこともあります。あきらめずに届けます。ただし印鑑は忘れずに」。

予定地に中学校は

不必要でしようか？

婦人部の呼びかけで、予定地に中学校の建設促進のための第四回目の会合が持たれました。十一月十六日（土）のことです。出席者は役員を含めてたったの二人でした。

現在赤三中へ通学している子供を持つ父母はともかく、これから中学へ通わせなければならぬ子供の父母の、意外な関心の低さを、このことはあらわしています。

もうすでにあきらめてしまっているのか、問題にしていけないのかどうかわかりませんが、ではあの予定地とはいったい何でしようか。入居時には、すぐにもあの予定地に中学校ができることを大半の父母は思っていたのではありませんか？ 物理的にも心理的にも遠い赤三中へ通わせることなど、少しも思わなかったのではないですか？

赤三中は一学年八クラスのマンモス校です。当然、生徒ひとりひとりにキメ細かく対応することは至難です。マンモス校を解消するためにも新しい中学を建設すべきではないでしょうか。それとも、「予定地」に新しい中学は建てる必要はありませんか？ ご意見おきかせ下さい。